

# 武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画専門部会（第5回）

## 令和5年度 武蔵野市地域自立支援協議会（第5回親会）

### 会議要録

日時：令和6年2月5日（月）午後6時30分～8時40分

場所：市役所4階412会議室（オンライン併用）

#### 次 第

1. 開 会
2. 配布資料確認
3. 第1部「計画策定委員会」
  - ・市民意見交換会及びパブリックコメントの結果等について
  - ・武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画答申（案）について
4. 第2部「地域自立支援協議会」
  - ・各部会の活動内容等について
  - ・3月11日（月）全体会の実施内容について
  - ・地域移行部会を「にも包括」協議の場として位置付けることに伴う対応について（案）
5. その他
  - ・次回日程など
6. 閉会

#### 配付資料

- ・資料1 市民意見交換会及びパブリックコメントの結果
  - ・資料2 市民意見交換会及びパブリックコメントの専門部会取扱方針（案）
  - ・資料3 武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児計画答申（案）
  - ・資料4 武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児計画答申（案）概要版
  - ・資料5 中間のまとめ以降の主な修正箇所
  - ・資料6 武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画専門部会 今後の予定について
  - ・資料7 全体会の開催方法と今後のスケジュールについて（案）
  - ・資料8 地域移行部会を「にも包括」協議の場として位置付けることに伴う対応について（案）
- 参考 第4回会議要録

## 出席者（敬称略）

- 会 長・・・岩本操（武蔵野大学人間科学部人間科学科教授） Web
- 副会長・・・羽田野敦子（社会福祉法人武蔵野地域生活支援センターびーと副施設長） Web
- 委 員・・・安東博（武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会員） Web  
岩岡由美子（武蔵野市民生児童委員協議会第一地区会長） Web  
久保田聡（明日の風法律事務所弁護士） Web  
後藤耕士（社会福祉法人武蔵野ジョブアシストいんくる施設長） Web  
佐藤資子（社会福祉法人武蔵野千川福社会チャレンジャー所長） Web  
杉本美乃（株式会社浩仁堂地域活動支援センターコット施設長） Web  
立野信行（社会福祉法人おおぞら会あすはKids管理者） Web  
中村美奈子（東京都多摩府中保健所保健対策課地域保健第二担当課長代理） Web  
西村聡彦（市民公募委員） 会場  
長谷川圭（特定非営利活動法人ゆうあいセンター理事） Web  
福本千晴（武蔵野市地域自立支援協議会障害当事者部会員） Web  
山本紀之（特定非営利活動法人ミュー副理事長） Web  
横山美江（社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会地域福祉推進係長） Web
- 事務局・・・山田（健康福祉部長）、齋藤（障害者福祉課長）、大浦（社会福祉法人武蔵野派遣副参事）、福山（地域支援課長）、小久保（高齢者支援課長）  
田口（障害者福祉センター所長）、淵上（障害者福祉課）、三浦（障害者福祉課）大谷（障害者福祉課）、永田（障害者福祉課）、坂部（障害者福祉課）  
鈴木（障害者福祉課）
- 傍 聴・・・5名（うち3名はWeb）

## 1. 開 会

部会長・・・雪の中、オンラインが有難いと思いました。充実した会になりますよう、よろしく  
お願いします。

## 2. 配布資料確認

○事務局より配布資料の確認。

## 3. 第1部「計画策定委員会」

・市民意見交換会及びパブリックコメントの結果等について

○事務局より資料1、2の説明。

- 部会長・・・専門部会の立ち位置、責任の所在に関して、物足りなさを感じている人がいる。言葉のトーンに工夫が必要。一問一答式になっているので、短い文章で伝えると誤解を生じかねない。似通った項目をまとめて、背景も含めた丁寧な説明が必要。
- 委員・・・専門部会としての回答は答申案には載らないとなると、どのように取り扱い、どう反映されるのか。
- 事務局・・・パブリックコメントの取り扱いについては、健康福祉部における各計画共通して本冊には印刷しない形で調整している。ただし、HP等でご意見に対する取扱方針については公表する。専門部会＝市ではないため、表現の工夫は必要だが、取扱方針に基づき市として対応していくつもりである。
- 部会長・・・前回の計画ではパブリックコメントが載っている。今回は掲載しないというのは、どのような意図か。
- 事務局・・・市の最上位計画である第六期長期計画・調整計画では、パブリックコメントについては掲載しない方針となっていたため、健康福祉部でも統一した。
- 部会長・・・パブリックコメントと取扱方針を修正する時期はいつ頃を予定しているか。
- 事務局・・・様式をお送りするので、可能ならば本日から1週間以内に、意見等をご記載いただき、それを反映させてHPに掲載する方向で考えている。
- 部会長・・・専門部会は自立支援協議会の親会の委員が兼ねて進めているため、取扱方針では、協議会やミッションに関連したことでも書き込んでいいのではないかと。主ではなくとも協議会の活動でやっていることは書いても良い。

・武蔵野市障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画答申（案）について

○事務局より資料3、4、5の説明。

- 委員・・・66ページ、医療的ケア児支援は今現在、支援を必要としている人がいる。検討ではなく、もっと前向きな記載にしてほしい。「保育所等訪問支援」は他自治体ではかなり利用されており、1か所では少ない。強度行動障害は何らかの係わり方の中で起こってくると聞いたことがあり、支援ニーズの手前での係わり方などの事も大事だと思った。記載に工夫をして欲しい。
- 事務局・・・医ケア児については、本年度から医療的ケア児コーディネーターを設置しているが、庁内体制も含め、どのような体制で支援を進めるべきか検討中である。協議の場には関係者に集まっていたが、協議の場の設置時期も未定で明記できていない。訪問等による指導・助言の件数については、「訪問等による」の国の定義が確認できていない。基幹相談支援センターでは現在も一緒に当事者の自宅訪問をしたり、検討会議に出席したり、事業所への助言等含めて色々行っているが、それとは別の、事業所に訪問してほしいという程の意図なのかどうかの確認ができていないので、記載は調整中とさせていただいた。
- 委員・・・形が見えづらいところでは、検討とせざるを得なかったと理解した。訪問に関して国の想定が分からないので、数字では出せなかった点も承知した。

- 部会長・・・実施するという前提で計画を立てているのか。場合によっては検討の結果やらないこともあるのか。
- 事務局・・・件数を定義づけて統計をとっていく必要があるため、令和6年度から何件といった結果報告ができるかどうかも含めて不明確なところもあるが、やる前提で考えている。どのようなやり方、どのような定義で実施していくかを調整中である。
- 部会長・・・3年間の検討は長い。どのような形でも進めるべきではないか。
- 委員・・・66ページ、医療的ケア児支援は今現在、支援を必要としている人がいる。検討ではなく、もっと前向きな記載にしてほしい。「保育所等訪問支援」は他自治体ではかなり利用されており、1か所では少ない。強度行動障害は何らかの係わり方の中で起こってくると聞いたことがあり、支援ニーズの手前での係わり方などの事も大事だと思った。記載に工夫をして欲しい。
- 部会長・・・ペアレントトレーニングなどは人数ではなく、「実施」という書き方があるので、それを含めての検討だと思う。
- 事務局・・・医療的ケア児のための協議の場の設置は未検討だが、保育園や小中学校においては医ケア児の対応や受け入れ準備はしている。記載に関しては考えていく。
- 部会長・・・「保育所等訪問支援」の1とは何を指すのか。
- 事務局・・・事業所の1という意味。これまで市内には指定を受けた事業所がなかったが、今年度新たに指定を受けた。  
強度行動障害は色々な状況が見受けられる。対応、体制、支援は全国の自治体の手探りでやっている状態。数値的な記載はしにくい。どのような対応を図っていくか検討し取り組んでいきたい。
- 部会長・・・1事業所が訪問する先が複数あることもある。誤解のないように、必要であれば注釈を検討いただきたい。
- 委員・・・20ページのグラフの凡例は、10ページのようにタテの方が分かりやすい。30ページも同様。  
46ページ、「まちぐるみの支え合いの仕組みづくりの推進」の内容で、(社福)武蔵野、市民社会福祉協議会とあるが、これは2つの組織か？  
42ページ、2つ目の■、差別解消法の認知度は低いとあり、合理的配慮を不十分と感じたことはないという回答が多いとあり、矛盾しているように感じる。この後に、調査結果からは合理的配慮について正しく認識できていないため、配慮が不十分であることに気付いていない可能性がある、といった文を入れたらどうか。
- 部会長・・・配慮が分からなければ、配慮されているか、されていないかは分からない。そこが分かるような記載が必要。
- 事務局・・・20ページの凡例は対応する。46ページは「、」が挿入されているが、正式には1団体。42ページ、不十分と感じたことはないのは、そもそも知らない故からで、このように記載したが、分かりにくいかと思うので修正して本計画に反映したい。
- 部会長・・・ヤングケアラーのことが、障害児のところに書かれているのは妥当なのか。むしろ相談支援、家族支援ではないか。ご検討いただきたい。

事務局・・・挿入する箇所については悩んだ。当事者ではない家族支援の項目がないので。基本施策6に入れるか、基本施策3の相談支援体制に入れるか。1に入れるのも可と思うがご意見を伺いたい。

部会長・・・趣旨が違ってしまうと思った。家族支援の項目がないのが課題である。可能な範囲で検討いただきたい。

事務局・・・50ページ、基本施策3で記述していく方向で検討する。

委員・・・2、3ページ、こども家庭庁に障害児の支援に関する部会があり、児童福祉法の改正がこの4月にあると思うが、記載予定はあるか。

部会長・・・計画策定時点以降の法改正はここには入っていない、という整理でよいと思う。それでは、今後の予定について事務局より説明をお願いします。

○事務局より資料6の説明。

事務局・・・資料2の部分については、様式をお送りするので、1週間程度を目途にご意見をメールでお寄せいただきたい。内容を反映させ、確認後、公表に移りたい。

部会長・・・計画に関する専門部会は今回で終了である。今後は正副部会長と事務局に一任願いたい。

委員・・・コラムに入れる文字数に制限はあるか。

事務局・・・空白部分への穴埋めなので、200～300文字を想定している。

#### **4. 第2部「地域自立支援協議会」**

・各部会の活動内容等について

部会長・・・活動内容の報告をお願いしたい。相談支援ネットワーク部会委員。

委員・・・ネットワーク強化のために必要な居場所を検討していこうということで、うまくいった事例と、いかなかった事例を検討している。本当に必要な相談支援とは何かをまとめられたらと思う。

部会長・・・「居場所」というのは相談したり、人と関わっていく場所というように広く捉えてよいか。

委員・・・障害種別的なところもあるが、知的の方が知的のところでもうまくいなくても、他でうまくいった事例もある。障害に拘らない居場所の検討も必要なのではないか。色々な事例を研究しているところ。

部会長・・・地域移行部会の部会長。

委員・・・本年度は病院からの退院支援ということで具体的な活動に取り組んできた。まず他区の事例を勉強しようと、中野区から精神障害者地域生活支援拠点事業所の職員を招いて勉強会を実施した。荻窪へ見学、井の頭病院の患者と交流しているところを見学した。武蔵野市ではどのようなやり方があるのか、話し合った。今週末にも部会があるのでさらに詰めていきたい。

部会長・・・住まい部会の部会長。

委員・・・どこに焦点を当てて進めるのが良いのか協議をした。グループホーム、入所施設、ひとり暮らしと、色々選択肢があり、ライフステージ別に住まいも変わっていく。住居を選択するサイトなど調べ、単身で暮らす住まいの情報提供を進めることとな

り、同じような取組よりもさらに協力して広げていくのか、今、不足しているところの手助けをするのか。あんしん住まい推進事業との意見交換を行い、どこに焦点を当てるか進めていきたい。

部会長・・・・・・当事者部会の委員。

委員・・・・・・今まで来られていた方が、コロナの後、元に戻れていない状況にある。身内だけになってしまった状態。ふれあいカフェが年に2回ほどできたら良い。あったかまつりで模擬選挙ができなかったが、別の所でできるのではと意見もいただいた。

部会長・・・・・・当事者部会の委員。

委員・・・・・・12月8日にふれあいカフェを実施して、参加者は4名、他は当事者部会の方や関係者だった。人数が少ないというのは反省点である。夜は外出しにくいという意見があり、来年度は土日の昼間にやってみようかと検討中。ふれあいカフェという形ではなく、既存のゲーム大会やまち歩きといった、誰が参加してもよさそうなイベントとコラボすることを入口にしてもよいのでは、との意見が出ている。

部会長・・・・・・色々と実験的なことができるので、是非、うまくいった事、いかなかった事を実績にして次につながればいい。他の地域、部会との連携が進むのは良い方向性。年度の集大成として、3月11日に全体会を予定している。全体会について事務局からお願いしたい。

### ・3月11日（月）全体会の実施内容について

○事務局より資料7の説明。

部会長・・・・・・普段、同じ部会のメンバーで協議しているが、このグループ・ディスカッションはミックスで意見交換するものとなる。開催方法として、予め動画を作成してそれを会場で流すか、直接話すか。コロナ前は直接だった。録画は時間が伸びたりせず、参加できない方とも共有できるメリットがある。各部会長はいかがか。

委員・・・・・・動画を作っている時間がない。対面でできるなら対面がよい。

委員・・・・・・負荷が小さい方がいい。動画作成の経験がなく、時間がかかりそう。対面はそのままできるのでよい。

委員・・・・・・昨年度動画を作った。今回作るとしても概要版にする。対面と重なる内容になりそう。

委員・・・・・・動画は大変だと思う。ライブの方が柔軟に対応できる。

委員・・・・・・対面で自分がいるのに、画面で自分が映るのは恥ずかしい。対面でタイムキーパーを付けるのはどうか。

部会長・・・・・・動画がいいという方はいらっしゃらなかった。

委員・・・・・・欠席の方にも見ていただける動画の利点があるので、ライブを録画し、後で共有してはどうか。

部会長・・・・・・方法は対面で。資料は作成していただき、口頭発表。これでよろしいか。

事務局・・・・・・ライブの録画ができるかどうかは、機材等含めて確認させていただく。

- 部会長・・・親会でやっていることを見聞きする機会はあまりないと思うので、専門部会のメンバーに参加を呼び掛けていただきたい。テーマは違って共通することもあるし、お互いの関係ができることもある。
- 事務局・・・議論いただいた内容をもとに資料7を微調整し、情報提供をさせていただき、話を進めさせていただきたい。
- 部会長・・・グループ・ディスカッションのテーマに関して、ブレインストーミング的にアイデアを出してほしい。
- 委員・・・ライフステージにかかわらず、安全安心に暮らせる地域社会。
- 委員・・・皆が住みたくなる武蔵野市にするにはどうしたらよいか。
- 委員・・・武蔵野市は広く目を向け、連携も取れている。その人をどう支援するか、その人がどうあったらよいかを皆が考えるからだと思う。その人らしさをどう支えるかをディスカッションできたら楽しい。自分の役割だけでなく、その人を支えるために何ができるか、何が足りないか。
- 委員・・・部会の編成をミッションごとにするのはよい。地域の取組みとしてどんな地域課題、どんなテーマで、どんな取組みをしたらよいか、議論ができるとうい。
- 委員・・・民生委員として、いろいろな立場の方との支え合いをどう進めていけるか、を考えている。ふれあいカフェで、民生委員のことはあまり知らないという人がいた。支え合いができるためにはどうしたらよいかと考えた。
- 副会長・・・一人ひとりの思いに沿った支援とは何か。
- 委員・・・平成28年のテーマをみて、「市民」と言うと上から目線でハードルが高いので、「大人から子ども」それぞれの立場の人が障害者をどう理解するのかを考えてみた。
- 部会長・・・市民とひと括りにしないで、いろいろな世代の人が障害を理解するためにはどのようなことが必要か、というテーマはどうか。テーマはひとつなので、正副会長と事務局で決めさせていただきたい。

・地域移行部会を「にも包括」協議の場として位置付けることに伴う対応について（案）

○事務局より資料8の説明。

事務局・・・試行錯誤しながら、部会の皆さんと協議し、進めていきたい。

## 5. その他

事務局・・・本日は長い時間、様々な意見をいただいた。8日の健康福祉施策推進審議会、3月5日の市長への答申を経て、計画策定に臨みたい。

次回は3月11日（月）午後6時半から市役所412会議室で全体会を開催。3月25日（月）午後6時半から市役所811会議室で本年度最後の地域自立支援協議会を開催する。

## 6. 閉会

部会長・・・本日はどうもありがとうございました。次回もよろしく申し上げます。

(終)